

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月22日

北海道教育委員会教育長 様

北海道上富良野高等学校長

木 下 温 

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 学校教育目標

未来社会を生き抜く自立した人間の育成

2 スクール・ミッション

○地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
○個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、自己実現のために努力する生徒の育成

3 スクール・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自律する力・・・ルールやマナーを正しく理解し、自分から守ることができる力
○つながる力・・・自分や他者を理解し、思いやりをもって他者や地域とつながる力
○行動する力・・・強くしなやかな心と身体を持ち、自分の考えで行動する力
○考える力・・・社会に必要な知識、技能を身につけ、課題を解決する力
○表現する力・・・身につけた知識、技能を使って他者に自分の考えを伝え、対話する力
○挑戦する力・・・達成感を積み重ねて自信を持ち、積極的に新たなことに取り組む力

4 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・教科で指導方法の工夫やICTの活用がなされた。 ・家庭学習に関しては、保護者および教職員で課題意識がある。家庭学習を充実させるためには、生徒の学習環境を見直す必要性がある。 ・交通障害や法定伝染病等による欠席者に対して、オンラインによる授業保証を行うことができた。 ・学校だより、HPなどで情報発信ができた。	
改善方策	・「家庭学習」という視点ではなく「主体的な学習への支援」（自習室の整備、放課後補習の場所や機器の整備等）として学習環境の整備と生徒への働きかけを次年度は重点目標にしていく。 ・ICT活用では、機器の設定やトラブルに対応できる職員体制を構築する。 ・中学校への情報提供や公共施設への学校だよりの掲示などを進める。	
生徒指導	・いじめは1件あったが、学年団と協力し、早期解決することができた。 ・教員間で生徒の現状を共有により、トラブルの未然防止につながられた。 ・各行事や総探などの中で自らを表現する機会を与え、主体性や表現力の向上につながった。 ・学校祭では、さまざまな催しを通して自分たちで行事を作り上げる機会となった。	
改善方策	・いじめアンケートは早めに実施し、生徒と面談ができるよう計画的に実施する。 ・校則の見直しは 生徒会を中心に生徒と話し合いを進め主体的に考え行動する姿勢を醸成する。 ・学校祭等、例年より1月前倒しで計画し、生徒に主体的な活動を促す。	

進路指導	・地元企業の協力を得、インターンシップや職場見学などほぼ全ての行事を実施することができた。 ・上級学校見学、3年生による進路体験発表、進学希望者を対象とする進学相談会への参加などにより進路意識の向上が図られた。進学希望者への模試講習を実施することができた。 ・3年生は進学希望16名、就職希望13名全て決定した。	
改善方策	・予定されていた行事等は概ね実施することができ、次年度も同様の取組を進めていく。 ・インターンシップは希望者に長期休業中に実施した。就職後のキャリア、人生設計、生活についても考えさせるうえでも効果があり、次年度も実施する。 ・勉強マラソンの実施方法について、より効果的な形態に変えていく。	
健康・安全指導	・教育的支援が必要な生徒に対してはサポート委員会を中心に支援をおこなうことができた。 ・Googleフォームを使用した健康調査や休業明け心の調査などをおこない、きめ細やかな対応が成果を残した。	
改善方策	・教育的支援が必要な生徒に対する支援は状況を共有し、組織的にこなってゆく。(アセスは2回実施し、分析を全体で共有する) ・自己の健康や安全に対する意識向上をあらゆる教育活動の中で位置付け、意識醸成を行ってゆく。	

【学校運営に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり】 スクール・ミッションやスクール・ポリシーに基づく学校運営について。保護者・地域からの信頼度向上について。	・スクール・ミッション、スクール・ポリシーについての浸透が一定程度進んだ。 ・PTA活動や探究発表会、授業公開週間等への保護者の参加も多く、教育活動の理解を進めることができた。オンライン配信も活用することができた。 ・入学後の満足度の結果より、多くの生徒や保護者の満足を得ていることがわかった。	
改善方策	・各行事においても育成を目指す資質・能力について明確にした教育活動をおこなう。 ・探究活動において地域との連携を更に深めていく。 ・HPやオンラインシステムを効果的に活用して、生徒や保護者へのPRを強化する。 ・北海道CLASSプロジェクトの成果を地域探究につなげ、高校や地域の魅力化の一助とする。	

3 添付資料

- ・保護者・生徒アンケート集計
- ・自己評価書
- ・学校関係者評価書